

現況

【人口】 691人 【集落数】 11集落 【高齢化率】 43%
 【世帯数】 344世帯 【高齢者一人暮らし世帯】 133世帯
 【施設等】 旧皆地小学校、旧四村川小学校、クアハウス熊野本宮、湯の峰温泉公衆浴場、湯の峰郵便局、湯峯駐在所

【主産業】 観光業（旅館・民宿・浴場）宿泊施設14軒・公衆浴場1軒
 農業（水稻、野菜）、耕作面積：5ha
 耕作放棄地：11ha、販売農家：3戸
 【生活環境】 交通：路線バス（4業者）

学校：本宮小学校、本宮中学校（四村川小学校（H18廃校）、四村川中学校（H11廃校））
 商店：3商店（食料品、日用品）
 金融：湯の峰郵便局

問題認識

- ・国事業で新たな地域産品づくりを開始し、一定の収入を得ているが、生産技術、販売体制が確立できていない
- ・地域の歴史や伝統を継承する人材やツールが不足



- ・国事業の成果を活かした新たな地域産業を確立し自立を図る
- ・地域おこし協力隊と協働した移住者のなりわいをつくとともに伝統技術の継承による誘客を図る

国事業の成果【H26】

- ・あまご養殖場を整備し、販売を開始（販売先：地元宿泊施設）
- ・わさび田を整備し、沢わさびの栽培を開始
- ・直売所（四村朝市）の設置
- ・旧武住小学校を活用し出荷兼加工施設を整備（マコモ）
- ・名勝地案内看板の設置

新たな課題

- [生産]
あまご：稚魚購入のため、生産コストが高い
- [加工]
あまご：規格外品が発生し、収益性が悪い
- [販売]
直売所：農産物の端境期は商品不足

[国事業で整備]



あまご養殖場



わさび田

地域の取り組み【H27-】

- [生産]
・受精卵購入によるコスト低減
・収穫まで期間（1年）の短い畑わさびを導入
- [加工]
・加工施設を整備し、規格外品等の加工品製造（あまごの開き、甘露煮、わさび漬など）
- [販売]
・加工品を直売所で販売



地域おこし協力隊と協働する取り組み【H28-】

- （定住に向けた収入対策）
- ・わさび、あまご等の生産技術の習得と継承
 - ・プレミアム和歌山の認証を目指した特産品づくり
 - ・音無紙の原材料を栽培し、紙すき技術を習得

目指すべき姿

- 地域産業（わさび、あまごなど）の創出等による地域が自立するしくみづくり
- 地域おこし協力隊や移住者へのなりわいづくり

【事業期間】 H27~28

【事業主体】 四村川活性化委員会（本宮町自治連絡協議会四村支部、四村川を考えるふれあいの会、NPO法人熊野本宮、NPO法人和が家、やったる会、湯の峰温泉女将の会）、田辺市

全体事業費：13,540千円
うち県：5,434千円